

科目名	倫理学	科目分類	<input type="checkbox"/> 専門科目群 (第1グループ) <input checked="" type="checkbox"/> 総合科目群 (第2グループ)	
			全学科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択
英文表記	Ethics	開講年次	<input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input type="checkbox"/> 2年 <input type="checkbox"/> 3年 <input type="checkbox"/> 4年	
ふりがな	ぜにや あきお	開講期間	<input type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中	
担当者名	銭谷 秋生	修得単位	2単位	
授業のテーマ	善とは何か、そして正義とは何かについて理解する。			
授業概要	「単に生きるのではなく、善く生きることが大切である」というソクラテスの問題提起と共に倫理学は始まった。しかし「善」とは何であり、それは「正義」とどのように関連するのか。この講義は、倫理学の原初の問いを引き受けるところから始め、その後の主だった展開を追跡し、現代に生じてきている倫理的諸問題と取り組むための足場を確保するところまで進む予定です。			
到達目標	「善い」人間のあり方や「正義にかなった」社会の姿を、原理的などころか考えることができる。			
授業時間外の学習	1. 授業の場で適宜参考文献を紹介いたしますから、必要に応じてそれに目を通してください。 2. 授業の最後に「問い」を出す場合がありますから、次回まで、その問いに自分ならばどう答えるかを考えて、書き出してきてください。			
履修条件	社会思想史などに関して、高校で学んだことを自分でもう一度確認すること。			
授業計画				
第1回	イントロダクション：なぜ善や正義について、あらためて考えなくてはならないのか。			
第2回	倫理学の原初の問い：ソクラテスの言う「魂の気遣い」とは何を問題にするものだったのか。			
第3回	ソクラテスVS ソフィスト：善とは何かという問いと、善らしく見せればそれでいいとする論理の対立			
第4回	アリストテレスの応答：刻まれぬ法としての正義			
第5回	近・現代の道徳的相対主義：ヒュームの挑戦、エイヤーの表出説、マッキーの投影説の検討			
第6回	功利主義（その1）：最大多数の最大幸福が善であるとする説（ベンサム論理）			
第7回	功利主義（その2）：ミルによるその洗練（質的功利主義）			
第8回	合理主義的倫理学（その1）：幸福に値することとしての道徳（カントの倫理学）			
第9回	合理主義的倫理学（その2）：道徳と正義（カントの法論）			
第10回	現代の正義論（その1）：ロールズによる正義の二原理の導出			
第11回	現代の正義論（その2）：ロールズの正義論の内容とその含意			
第12回	現代の正義論（その3）：ノージックの正義論（自己所有権論）			
第13回	現代の正義論（その4）：ノージックによるロールズ批判の内容			
第14回	人権の基礎（その1）：ゲワースの類型的権利論			
第15回	人権の基礎（その2）：類型的権利論と支援国家			
第16回	定期試験			
テキスト	毎回プリントを配布して、それに沿って講義します。			
参考文献・資料	新田孝彦『入門講義 倫理学の視座』（世界思想社） 加藤尚武『現代倫理学入門』（講談社学術文庫）			
成績評価の方法	授業中の小テスト(20%)と定期試験(80%)を基に総合的に評価します。なお、出席回数が規定に満たない場合は定期試験を受けることができません。			

成績評価基準	<p>【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)</p> <p>【平成28年度(2016)以降に入学した学生】 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)</p>
オフィスアワー	講義後
学生へのメッセージ	毎回皆さんからも発言してもらいますので、臆することなく意見を言ってください。